

2. 目指すべき将来の方向性

人口の将来展望を検討するために、本町の人口の特徴と、課題を改善するための方向性を以下に整理した。

表 3.2 将来の方向性

	人口動向の特徴	課題を改善するための方向性
社会増減	<ul style="list-style-type: none"> *平成 10 年以降、常に社会減の状況。 *20～24 歳の年齢階級の転出超過が多い。 *男女とも県外転出者が多い。 *県内では、十日町市や長岡市への転出超過が多い。 *働く世代の転入・転出は「職業」や「住宅」の理由が多い。 *圏域の有効求人倍率は現在 1.0 を上回っているが、雇用のミスマッチが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ■魅力ある雇用機会を創出し、若者の就職による転出を防ぐ ■通学支援等により若者の進学による転出を防ぐ ■町内産業の活性化や企業の誘致により、町外からの転入を増やす ■子育て支援策の充実により、町外からの転入を増やす ■移住・定住支援により、町外からの転入を増やす
自然増減	<ul style="list-style-type: none"> *平成 2 年に死亡数が出生数を上回って以降、自然減の状況。 *晩婚化、有配偶者率の減少が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■希望する子どもを産める所得を確保する ■安心して子どもを産み、育てられる環境を整備する ■早期の結婚を促す